

令和7年度 第1回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
1	②エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援	物価高騰対策学校給食費補助事業	①物価高騰に伴う食材費の値上がりを受けて、令和5年度に改定した給食費の値上げ分と、米の高騰分を市が負担することで、栄養基準を維持した安心安全な学校給食の提供と保護者の負担軽減を図る。 ※教職員分を含まず ②給食材料費(令和5年度値上げ分・米及び高騰分) ③給食材料費 ・令和5年度給食費の値上げ分 小学校 @41円×221,985食＝9,101,385円 中学校 @52円×130,078食＝6,764,056円 ・令和7年度米飯の高騰分 小学低学年 @米単価10.42円 影響額合計573,195円 小学中学年 @米単価11.64円 影響額合計690,826円 小学高学年 @米単価14.08円 影響額合計890,257円 中学生 @米単価15.30円 影響額合計1,592,153円 計19,611,872円	R7.4	R8.3
2	③消費下支え等を通じた生活者支援	物価高騰対策割増商品券事業	①エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民及び市内事業者を支援するため、消費の下支え及び消費喚起による地域経済の活性化に効果が期待できる3割増商品券を販売する。 ②3割増商品券販売に係る委託費 ③商品券(販売価格10,000円 額面13,000円、23,000セット)印刷・販売・換金等委託費 82,500千円 ・商品券等印刷経費 1式 3,200千円 ・商品券販売・広告・換金経費 1式 1,598千円 ・事務手数料 7,475千円(取扱金額299,000,000円の2.5%) ・商品券割増分 69,000千円(割増分3,000円×23,000セット) ・消費税 1,227千円 ・その他一般財源 4,645千円 ④割増商品券購入者	R7.4	R8.2
3	③消費下支え等を通じた生活者支援	物価高騰対策学校給食費補助事業【牛乳高騰分】	①物価高騰に伴う食材費の値上がりを受けて、牛乳の高騰分を市が負担することで、栄養基準を維持した安心安全な学校給食の提供と保護者の負担軽減を図る。 ※教職員分を含まず ②給食材料費(牛乳の高騰分) ③給食材料費 ・牛乳の値上げ分 小学校 @7.6円×221,985食＝1,687,086円 中学校 @7.6円×130,078食＝988,592円 計2,675,678円 ※差額の計上により消費税を抜く ④学校給食を喫食する児童生徒(1,883名)の保護者	R7.4	R8.3
4	⑥農林水産業における物価高騰対策支援	白石市配合飼料価格高騰対策支援事業	①配合飼料価格高騰による畜産経営への影響を緩和するため、飼料購入費の一部を補助することで、市内の畜産事業者の事業継続を図る。 ②交付対象者への支援金、需用費、役務費及び時間外勤務手当 ③配合飼料の令和7年第1四半期分(R7.4～R7.6)の一部を補助(補助上限額:200,000円):総額 9,003千円 【対象数】 牛(酪農):1,050頭、牛(繁殖):1,498頭、牛(肥育):2,370頭 豚:21,807頭、鶏:40,000羽 【単価】 牛(酪農):7,500円/頭、牛(繁殖):4,000円/頭、牛(肥育):4,500円/頭、豚:2,500円/頭、鶏:90円/羽 ・需用費(消耗品費):5千円 ・役務費(通信運搬費):22千円 ・時間外勤務手当(市職員):140千円 ④白石市内で畜産業を営む個人、法人 (64経営体(牛57(和牛34, 酪農23), 豚6, 鶏1)	R7.9	R7.12